

テーマ「南海トラフ地震に備えて～指定避難所と医療体制について～」

1年()組()番 氏名()

問題 (Problem)

- ・愛媛県の市町村別医師数は、どのような状態なのか調べる。
- ・松山市の人口に対しての医師数はどうなのか、全国の都道府県庁所在地を比べる。
- ・本校から3km エリア内の病院や診療所の場所を調べる。

計画 (Plan)

- ・愛媛県の市町村別に医師数を人口1万人当たりの人数で比べる。
- ・全国の都道府県庁所在地の医師数を人口1万人当たりの人数で比べる。
- ・四国各県の市町村別医師数を箱ひげ図を用いて比べる。
- ・災害発生時に必要不可欠な医療機関を考え、外科、産婦人科、小児科、整形外科、内科の5つに絞って、本校から3km エリア内の病院と診療所を調べ、比較する。

データ (Data)

- ・SSDSE-2020A
- ・e-Stat 統計GIS

分析 (Analysis)



図3 愛媛県市町村別人口1万人当たりの医師数

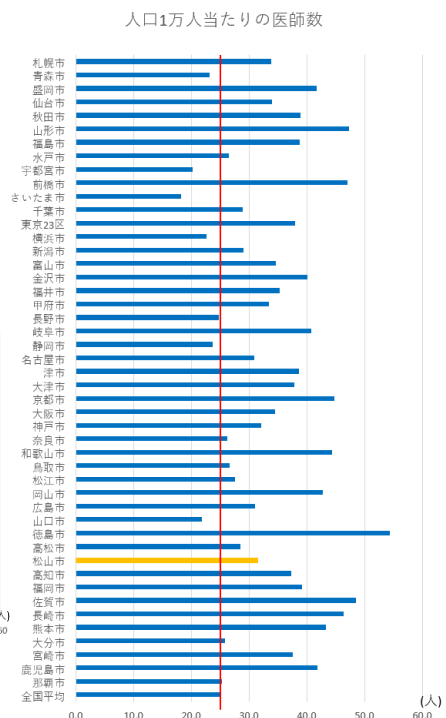


図4 都道府県庁所在地別の人口1万人当たりの医師数

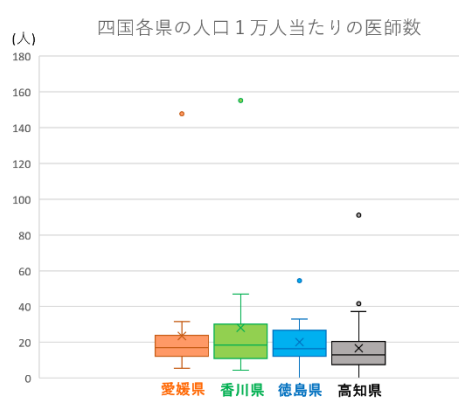


図5 四国各県市町村別の人口1万人当たりの医師数

結果 (Conclusion)

- ・図3から、東温市の人口1万人当たりの医師数は一番多いことが分かった。人口の割に愛媛大学附属病院や四国がんセンターなどの大きい病院があるからだと考えられる。下位の町は、近隣の上位の市からの医師の派遣が必要であると考えられる。
- ・図4から、松山市の人口1万人当たりの医師数は全国平均より多いことが分かった。
- ・図5から、愛媛県は東温市が外れ値であるが、四国4県と比べると格差はあまりない。
- ・図6から、病院と診療所に偏りがあり、空白地帯があることが分かった。

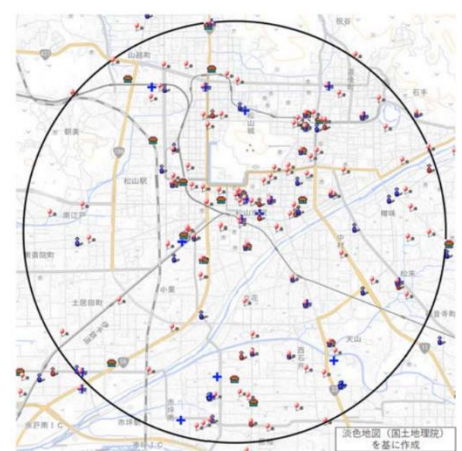


図6 統計GISに5つの科の病院と診療所をプロットした図